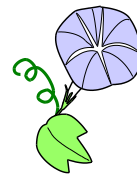




職員研修(救急法)「緊急時シミュレーション」

今回の研修は、事前の「危機管理」がいかに重要であることを再認識し、有事の際の組織的対応能力を高めるために実施いたしました。

- 実施日：令和8年7月21日(火)
- 講師：NPO 法人コネクトハート（元養護教諭として長年学校現場で子どもたちの命を守ってきた、救急救護の方をお招きしました）



まず座学から始まり、基礎知識を学んだ後、グループに分かれる



救急車が到着するまでの約5分間の心肺蘇生法の訓練



実践を通して、できた事、課題点を振り返る

教職員一同、**生徒の命を預かる重みを再認識し、危機管理への意識を一層高めることができました。**

緊急時の役割分担とアクション

1. 発見者は大声で応援を要請する



一人で抱え込まず、周囲に異常を知らせて協力者を確保します。

2. 協力者は119番通報とAED・心肺蘇生



スマホをスピーカーにして通報し、救急車の到着まで心肺蘇生を続けます。

3. 周囲の職員は生徒誘導と記録



他の生徒を避難させ、経過時間を記録しながら救急車を現場へ誘導します。

校内AEDの配置場所(北山高校)



☆地域と共有する安全情報☆：本校のAED設置場所



学校行事や地域の活動ほか、万が一の事態が発生した際、**AEDは誰でも迅速に使用できる**必要があります。**本校では図の3か所にAEDを設置しており、有事の際には地域の方々も利用可能です。**

重点項目	具体的な行動	
コミュニケーション	常に声を掛け合い、状況を共有する	💬
迅速な判断	迷わず119番通報とAEDの準備を行う	⚡
組織的対応	各自が自分の役割を理解し、チームで動く	👥